

平成27年度第1回境港市総合教育会議
会議録

平成27年5月18日

平成27年度第1回境港市総合教育会議

1. 日時 平成27年5月18日 開会 15時30分
閉会 16時40分

2. 場所 市役所第一会議室

3. 出席者

<市長> 境港市長 中村 勝治

<教育委員会> 教育長 佐々木 邦広
委員長 足立 ひと美
職務代行者 永井 美央
委員 谷田 真基
委員 赤石 有平

<事務局> 総務部次長兼総務課長 阿部 英治
総務部総務課行政係長 門脇 健一
教育委員会事務局長 藤川 順一
学校教育課長 山本 淳一
生涯学習課長 黒崎 享
教育総務課管理係長 古徳 健雄（書記）

<傍聴者数> 1名

4. 会議の概要

(1) 開会

(2) 市長あいさつ

(3) 総合教育会議について

※教育委員会事務局長が資料に基づき説明

(4) 協議・調整事項

①境港市総合教育会議運営要綱（案）について

※教育委員会事務局長が資料に基づき説明

<市長><教育委員会>同意・決定

②境港市教育施策推進大綱（案）について

中村市長 ここからは、私が議長を務めさせていただきます。
 早速ではありますが、協議・調整事項の2番、境港市教育施策推進大綱（案）について、事務局から説明をお願いします。

※教育委員会事務局長が資料に基づき説明

中村市長 ただいま事務局から大綱（案）について説明がございましたが、皆さまのご意見等を伺い、調整を図ってまいりたいと思います。ご意見等はございませんか。

足立委員長 大きく3つの方針が示されましたが、うまく整理されていると思います。
 施策で「児童・生徒、市民の安全と」と表現されますと、幼児が抜けている印象を受けるのですが、非常に幼児ということは大切ですので、大人も子どもも含めて市民とするのであれば、「児童・生徒」を削除し、「市民の安全と」とした方がいいのではないかと思います。

中村市長 表現については、事務局の方で検討させていただきますでしょうか。

足立委員長 次に、「次代を担う青少年に夢や希望を与え、郷土境港を愛する心を養う取り組みを、一層押し進めること。」とありますが、他の施策に比べて抽象的で、具体的にはどのようなことが含まれているのでしょうか。

佐々木教育長 “みんなでならいや地域の先生”と掲げさせていただいて、地域と保護者、学校とが一体となって子どもたちを育てるという機運がかなり高まってきているということを感じております。例えば市民運動会には、多い学校では100人近いボランティアの子どもたちが参加しておりましたし、街路樹の落ち葉拾いにも中学生が大勢参加して

おります。5月25日から行います3中学校一斉の職場体験学習も、すべての子どもたちが地域で受け入れていただいております。これは子どもたちの健全育成のためにも、地域のためにも大変良い効果が出ているということでございます。子どもたちが地域に愛着を持ち、地域の方々は子どもたちの教育に関心を持つという機運を高めていく施策を一層工夫していきたいということです。

足立委員長 分かりました。

赤石委員 基本理念があった方が分かりやすいというのが1点と、国際理解に関しては、クルーズ客船や国際定期便など特徴のある境港市ならではのものがあってもいいのではないかと思いました。

中村市長 教育委員会は、教育委員会として主体性を持った理念というものを、教育施策推進大綱に定めていると理解しているのですが。

佐々木教育長 “人間の尊厳を大事にする境港の教育”という基本理念は変わっておりません。めざす子ども像についても、“心豊かでたくましい子ども”、“夢や希望を持ち、よりよく生きようとする子ども”ということで、委員の皆様にもお示ししているところでございます。これに基づいて、今までは毎年学校教育推進の重点について検討いただいたわけですが、今回は、市長の方から、特に3つの柱を大綱としてお示しいただいたということでございます。

中村市長 そういった理解でよろしいでしょうか。

永井委員 「平成27年度2学期より…完全給食を実施すること。」という表記になっていますが、大綱そのものは27年度から29年度まで有効のものであり、この表記だと今年度2学期で終わってしまうという感じを受けるので、完全給食実施後も「安全・安心でおいしい給食を安定して供給でき

る体制」を継続していくという文章の方が、ニュアンス的にいいと思います。

中村市長

大綱の3つの柱は、3年間不変のものであります。それぞれの施策は1年毎に円滑に進めるため、このような表現をしており、来年度の大綱からはなくなるものであります。要するに、毎年新たに組み込む施策を大綱に取り込むという考え方はどうだろうかということでお示しをしているところです。

永井委員

もう1点は、児童クラブの運営は行政でカバーできる子育て支援で、とても大切なことだと認識しております。ただ行政にそこを担ってもらえるという感覚では、家庭教育の重要さが薄れている感じがしています。私は、教育を行っていく上で、家庭教育はとても大切なものだと思っております。「子育て支援の視点」という表現を入れてしまうと、学校教育が子育て支援も担っていかなければならないと受け取られるのではないのでしょうか。

佐々木教育長

教育委員会は今後も児童クラブを担っていくことでもあります。子どもたちの家庭も経済力、家庭環境の格差が生じ、子どもたちの教育に大きな影響を及ぼしつつあります。そうしたところにもしっかりと目を向けて、学校教育の中で行うのではなく、児童クラブがその役割を果たしていく必要性がさらに大きくなると考えております。保護者に対する家庭教育を行うということですが、それは社会全体で行っていくべきことでもあります。確かに学校教育はPTA活動などで保護者と関わっていくわけですが、学校又は教育委員会が保護者を教育するというものではございませんので、共に子どもたちのことを考え、共に成長していきましょうということが基本です。それは「地域と保護者、学校とが一体となって」という部分に含まれているとご理解をいただければいいのかと思っております。

永井委員

家庭教育のことは忘れてほしくはないので、難しいこと

だと分かるのですが、大綱の中に盛り込めないものでしょうか。

中村市長

まさにその点が、総合教育会議の意味するところだと思います。今までは教育委員会だけで抱えていたものが、市長部局も一緒になって考えていくということで私が入っているわけです。この会議の中で大いに発言させていただいて、課題を共有するということが意味があると思います。私も思いは同じでして、地域や家庭への教育が押しつけになってはいけないと思います。他の委員さんも何かいい表現がありませんでしょうか。

足立委員長

家庭教育の大切さや親としてのあり方、子どもの育て方については力を蓄えないと、なかなか親も育ちができないので、生涯学習からのアプローチができないものでしょうか。

佐々木教育長

一つ目の柱であります「環境の整備」を、社会環境も含めたものと考えますと、「一体となって」という表現について、例えば「それぞれの責任を果たし」ということで、責任という言葉を入れることによって、教育委員会も、PTAや地域がそれぞれの教育責任を果たしていくような取り組みを進めてくれよというような意味合いを持っていくのではないのでしょうか。さらに具体的なことについては、教育委員会や各市長部局が考えていくこととなります。

中村市長

今の表現についてはいかがでしょうか。

永井委員

尚且つ一体となることも大事だと思いますが、盛りだくさんになりますね。

佐々木教育長

「一体となって」という言葉は、よく使いますが、連携という言葉イメージするかと思います。連携というのは、各々がそれぞれの立場・役割をしっかりと認識して、これを果たすということが一番の連携だと思っております。

す。しっかりと分担することを押し進めるためにも責任という言葉が適切ではないかと思ったところです。

足立委員長 先程のところは、「環境の整備」の方針に入っているからじっくりこないのでしょうか。

佐々木教育長 「教育環境の整備」と言った場合、施設に目が行きがちですが、子どもたちを取り巻く社会環境を整備しましょうという意図があります。「学校教育」の中に入れてしまうと狭くなりますし、「生涯学習」として入れるのには広くなってしまいがちだったので、一番基本となる「環境の整備」に整理させてもらいました。

足立委員長 分かりました。

中村市長 それでは、事務局の方で整理をしておいてください。

谷田委員 私も「次代を担う青少年に夢や希望を与え、郷土境港を愛する心を養う取り組みを、一層押し進めること。」について、具体的にイメージが付かなかったのですが、先程の説明で理解ができました。

境港らしさということでは、「国際理解教育」や「海のスポーツ」などのキーワードも入っており、この大綱にはよく盛り込まれていると感じました。境港市はクルーズ客船により外国人も訪れますし、自然環境に恵まれております。この恵まれた環境を活かした教育に取り組んでいただきたいですし、あとは体験活動など具体的な事業内容の方で実施していただければと思います。

足立委員長 3月の定例教育委員会で定まりました、境港市学校教育推進の重点と整合性が取れていて大変良いと思いましたが、「質の高い学校教育」というまとめ方がしてありますが、何を基に質が高いとするのか、質が高いというのはどのような観点を盛り込んでいるのか教えていただけないでしょうか。

佐々木教育長

最近、中学校が荒れているということを聞かなくなったかと思います。こうしたことも質的な向上であり、それには必ず学力の面で裏打ちがないといけないと思っております。例えば、この近辺のどこに住もうかと考えたときに、ぜひ境港市で教育を受けたいとするのであれば、安定した学校教育が行われていると同時に、子どもたちにしっかりと学力を付けてくれるのかということも見られていると思います。特に「国際理解教育及び英語教育」ということを柱に掲げる地区はないと思います。境港市は外国に開けていく街ですし、今3つの中学校それぞれにALTを配置しておりますので、こういったことも活用しながら「国際理解教育及び英語教育」を質の高いものにしていけたら、境港らしさも一層際立つのではないのでしょうか。

赤石委員

教育委員としての日が浅いのでお聞きしますが、従来の教育委員会と総合教育会議とはどういう棲み分けがなされているのでしょうか。

中村市長

例えば予算のことについては、教育委員会で議論されて施策に反映されるのですが、今までは市長部局である財政課で査定し、予算が調整されていたわけです。しかしながら総合教育会議があれば、予算の決定権を持つ私に、教育委員会から直接議論をぶつけてもらうことができるということも意義があるところだと思います。子どもたちを育てるためには、教育委員会の予算はこれではダメだということも、ざっくばらんに話していただく会議だと思います。

赤石委員

誠道地区で実施しておられます4年生以上の児童に対する児童クラブについても、色々と予算措置が必要になるとは思いますが、子育てや就労の面からも支援していただければと思います。

永井委員

私は、就労支援と教育はリンクしにくくて、同じ課がそれを一緒にやるということは大変難しいことだという思

いがあります。就労支援を進めることは大事なのですが、同時に家庭での関わりは減っていくわけですから、この短い時間でどうやって子どもと親が成長していくのかという両方を教育委員会でサポートするのは難しいと思います。

中村市長

総合教育会議は、市長として、教育委員会の皆さまに自分の想いを伝える機会でもあるわけです。教育長とは、いじめや不登校がない学校づくり、児童会や生徒会活動が昔に比べると働いていないというようなことも、法改正で総合教育会議という場が設けられる前から、教育委員会との意思疎通は日常的にやっておりました。学校は、子どもが一日のほとんどを過ごす所で、自分たちの社会ですから、子どもたち自身で考え、解決していくこともしなければなりません。

足立委員長

一人一人の生涯学習活動が、よりよいまちづくりを支える力になると思います。まちづくりの視点からではなく、地域の学習者の視点から表現した方がいいのではないかと思います。例えば「市民の豊かな学びと活動を支える生涯学習の推進」とか、どうしても市民の活動レベルが高く、まちづくりを前面に出したいのであれば、「協働のまちづくりを支える生涯学習の推進」の方がいいのではないかと感じました。

次に「海のスポーツ」、「健康づくり」、「中海・宍道湖・大山圏域又は、環日本海諸国」という3つのことが入っていて、主旨が伝わりにくいという感じもしました。

市長部局との連携もあると思いますが、「高齢化社会を支える健康づくり」も施策に加えていただければと思います。

中村市長

少し検討させてください。大綱（案）につきましては、今回の意見を踏まえまして、改めてお示し、皆さまの了承をいただくということによろしいでしょうか。（異議なし）

その他協議・調整事項はございませんでしょうか。

本日予定しておりました協議・調整事項は以上となります、ありがとうございました。